

ご当地ナンバーと 地方版図柄入りナンバープレートの 導入に向けて

企画財政課企画経営室 ☎ 25 1101

伊勢志摩 599
ら 20-19

伊勢志摩ナンバーのイメージ

今年5月、ナンバープレートに地域独自の図柄をデザインする地方版図柄入りナンバープレートの導入と併せて、ご当地ナンバーの追加募集が国から発表されました。昨年の伊勢志摩サミットの開催により、国内外で有名になった「伊勢志摩」の地名ブランドを継続的にPRし、地域振興や観光振興に役立てることを目的に、「伊勢志摩」ナンバーと地方版図柄入りナンバーの導入を目指しています。

今後は導入実現に向けて、市民意識調査の結果や市議会などで市民のみならず、周辺の意見を伺いながら、周辺市町とともに取り組んでいきます。

ご当地ナンバーが実現したら

対象地域に所在する自動車について、平成32年度中から「伊勢志摩ナンバー」の新しいナンバープレートに変わります。ただし、使用中の「三重ナンバー」はそのまま使用可能で、新車登録や移転登録などでナンバープレートを変更する場合に、新しいナンバープレートになります。

なお、新ナンバーの希望者は手数料を支払うことで、新車登録や移転登録を待たずに変更することも可能です。



ご当地ナンバーとは

自動車のナンバープレートには、自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局または自動車検査登録事務所の名前が表示されていますが、地域振興や観光振興にも活用するために、新たな地域名表示を追加するのがご当地ナンバーです。県内では、「鈴鹿」ナンバーがあります。

地方版図柄入りナンバープレート

地方版図柄入りナンバープレートは、寄附金ありの色付きと、寄附金なしの単色の2種類のプレートから選択することができます。

他地域のご当地ナンバー



寄附金あり



寄附金なし

伊勢志摩の特色を踏まえた図柄のデザイン

図柄のデザインについては、平成30年12月中までに伊勢志摩地域にふさわしい図柄を市民のみならずの意向を踏まえながら選定し、国に提案していく予定です。



地方版図柄入りナンバーは強制ではありません

図柄入りナンバープレートは、希望者のみに交付されるものであり、強制ではありません。図柄入りを希望しないかたは、既存の無地のナンバープレートを選択することもできるため、自動車ユーザーにとつては車のナンバープレートを選択肢が増えることとなります。

寄附金の活用

寄附金は、対象地域の地域交通のサービス改善、観光振興などに活用します。



主なスケジュール

平成29年11月中
県に対して導入意向の要望

平成30年3月中
県から国に対して導入申込書を提出

平成30年12月中
ナンバープレートの図柄を提案

平成32年度中
新ナンバープレートの交付